

## **Oracle® Universal Content Management**

Site Studio マネージャ・ガイド

10g リリース 3 (10.1.3.3.3)

部品番号 : B51307-01

2008 年 11 月

Oracle Universal Content Management Site Studio マネージャ・ガイド, 10g リリース 3 (10.1.3.3.3)

部品番号 : B51307-01

原本名 : Oracle Universal Content Management Site Studio Manager Guide, 10g Release 3 (10.1.3.3.3)

原本著者 : Sean Cearley

原本協力者 : Brian Cheyne

Copyright © 1996, 2008, Oracle. All rights reserved.

#### 制限付権利の説明

このプログラム（ソフトウェアおよびドキュメントを含む）には、オラクル社およびその関連会社に所有権のある情報が含まれています。このプログラムの使用または開示は、オラクル社およびその関連会社との契約に記された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権と工業所有権に関する法律により保護されています。

独立して作成された他のソフトウェアとの互換性を得るために必要な場合、もしくは法律によって規定される場合を除き、このプログラムのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更される場合があります。オラクル社およびその関連会社は、このドキュメントに誤りが無いことの保証は致し兼ねます。これらのプログラムのライセンス契約で許諾されている場合を除き、プログラムを形式、手段（電子的または機械的）、目的に関係なく、複製または転用することはできません。

このプログラムが米国政府機関、もしくは米国政府機関に代わってこのプログラムをライセンスまたは使用する者に提供される場合は、次の注意が適用されます。

#### U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software--Restricted Rights (June 1987). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このプログラムは、核、航空、大量輸送、医療あるいはその他の本質的に危険を伴うアプリケーションで使用されることを意図していません。このプログラムをかかるとして使用する際、上述のアプリケーションを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（**redundancy**）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。万一かかるプログラムの使用に起因して損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、Siebel は米国 Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称は、他社の商標の可能性があり得ます。

このプログラムは、第三者の Web サイトへリンクし、第三者のコンテンツ、製品、サービスへアクセスすることがあります。オラクル社およびその関連会社は第三者の Web サイトで提供されるコンテンツについては、一切の責任を負いかねます。当該コンテンツの利用は、お客様の責任になります。第三者の製品またはサービスを購入する場合は、第三者と直接の取引となります。オラクル社およびその関連会社は、第三者の製品およびサービスの品質、契約の履行（製品またはサービスの提供、保証義務を含む）に関しては責任を負いかねます。また、第三者との取引により損失や損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

---

---

# 目次

はじめに .....	iii
対象読者 .....	iv
ドキュメントのアクセシビリティについて .....	iv
関連ドキュメント .....	iv
表記規則 .....	v
サポートおよびサービス .....	v
<b>1 Site Studio について</b>	
1.1 Site Studio スイート .....	1-2
1.2 Site Studio の主な機能 .....	1-3
1.3 Site Studio ユーザー .....	1-4
1.4 Site Studio 公開モデル .....	1-4
1.4.1 手順 1: デザイナでのサイトの作成 .....	1-5
1.4.2 手順 2: マネージャでのサイトの管理 .....	1-6
1.4.3 手順 3: コントリビュータでのコンテンツの追加および編集 .....	1-7
1.4.4 手順 4: 完成した Web サイトのプレビューおよび配置 .....	1-8
<b>2 サイトの管理</b>	
2.1 マネージャについて .....	2-2
2.2 マネージャ・インタフェース .....	2-2
2.3 マネージャの開始 .....	2-3
2.4 セクションの追加 .....	2-4
2.5 セクション名の変更 .....	2-5
2.6 セクションの順序の変更 .....	2-5
2.6.1 「Site Hierarchy」 ペインを使用したセクションの順序の変更 .....	2-6
2.6.2 移動コマンドを使用したセクションの順序の変更 .....	2-6
2.7 セクションの削除 .....	2-7
2.8 Web サイトへのセクションの表示 .....	2-7
2.9 サイト・ナビゲーションにセクションを含めない理由 .....	2-7
2.10 コントリビュータ専用としてのセクションの指定 .....	2-8
2.11 エラー・ハンドラとしてのセクションの指定 .....	2-8
2.12 セクションまたはページに関連付けられた URL の変更 .....	2-9
2.13 最大経過時間の値の変更 .....	2-9
2.14 カスタム・プロパティの変更 .....	2-10
2.15 レイアウト・ページのプレビュー .....	2-10
2.16 セクションへのプライマリ・ページの割当て .....	2-11
2.17 セクションへの外部 URL の割当て .....	2-12

2.18	セクションへのセカンダリ・ページの割当て .....	2-13
2.19	セクションからのレイアウト・ページの削除 .....	2-13
2.20	レイアウトのコンテンツ情報ページの表示 .....	2-14

## A ユーザー・インタフェース

A.1	「Manage Web Sites」 ページ .....	A-2
A.2	「Manage Site」 ページ .....	A-3
A.3	「Section」 タブ .....	A-4
A.4	「Layout」 タブ .....	A-5
A.5	「Secondary Layout」 タブ .....	A-6
A.6	「Custom Properties」 タブ .....	A-7

## B サード・パーティ・ライセンス

B.1	Apache Software License .....	B-10
B.2	W3C Software Notice and License .....	B-10
B.3	Zlib License .....	B-11
B.4	General BSD License .....	B-11
B.5	General MIT License .....	B-12
B.6	Unicode License .....	B-12
B.7	その他の帰属 .....	B-13

## 索引

---

---

# はじめに

このマニュアルには、Site Studio で管理している Web サイトの管理を担当する管理者を支援するための情報が記載されています。

## 対象読者

このマニュアルは、Site Studio で管理している、組織の Web サイトの管理担当者を対象としています。

## ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクル社は、障害のあるお客様にもオラクル社の製品、サービスおよびサポート・ドキュメントを簡単にご利用いただけることを目標としています。オラクル社のドキュメントには、ユーザーが障害支援技術を使用して情報を利用できる機能が組み込まれています。HTML 形式のドキュメントで用意されており、障害のあるお客様が簡単にアクセスできるようにマークアップされています。標準規格は改善されつつあります。オラクル社はドキュメントをすべてのお客様がご利用できるように、市場をリードする他の技術ベンダーと積極的に連携して技術的な問題に対応しています。オラクル社のアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility Program の Web サイト <http://www.oracle.com/accessibility/> を参照してください。

### ドキュメント内のサンプル・コードのアクセシビリティについて

スクリーン・リーダーは、ドキュメント内のサンプル・コードを正確に読めない場合があります。コード表記規則では閉じ括弧だけを行に記述する必要があります。しかし JAWS は括弧だけの行を読まない場合があります。

### 外部 Web サイトのドキュメントのアクセシビリティについて

このドキュメントにはオラクル社およびその関連会社が所有または管理しない Web サイトへのリンクが含まれている場合があります。オラクル社およびその関連会社は、それらの Web サイトのアクセシビリティに関しての評価や言及は行っておりません。

### Oracle サポート・サービスへの TTY アクセス

アメリカ国内では、Oracle サポート・サービスへ 24 時間年中無休でテキスト電話 (TTY) アクセスが提供されています。TTY サポートについては、(800)446-2398 にお電話ください。アメリカ国外からの場合は、+1-407-458-2479 にお電話ください。

## 関連ドキュメント

詳細は、Site Studio ドキュメント・セットの次のドキュメントを参照してください。

- 『Oracle Universal Content Management Site Studio インストレーション・ガイド』
- 『Oracle Site Studio Tutorial Setup Guide』
- 『Oracle Universal Content Management Site Studio チュートリアル』
- 『Oracle Universal Content Management Site Studio コントリビュータ・ガイド』
- 『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』
- 『Oracle Universal Content Management Site Studio テクニカル・リファレンス・ガイド』
- 『Oracle Site Studio リリース・ノート』

## 表記規則

このマニュアルでは次の表記規則を使用します。

規則	意味
太字	太字は、操作に関連する <b>Graphical User Interface</b> 要素、または本文中で定義されている用語および用語集に記載されている用語を示します。
イタリック体	イタリックは、ユーザーが特定の値を指定するプレースホルダ変数を示します。
固定幅フォント	固定幅フォントは、段落内のコマンド、 <b>URL</b> 、サンプル内のコード、画面に表示されるテキスト、または入力するテキストを示します。

## サポートおよびサービス

次の各項に、各サービスに接続するための URL を記載します。

### Oracle サポート・サービス

オラクル製品サポートの購入方法、および Oracle サポート・サービスへの連絡方法の詳細は、次の URL を参照してください。

<http://www.oracle.com/lang/jp/support/index.html>

### 製品マニュアル

製品のマニュアルは、次の URL にあります。

<http://www.oracle.com/technology/global/jp/documentation/index.html>

### 研修およびトレーニング

研修に関する情報とスケジュールは、次の URL で入手できます。

[http://education.oracle.com/pls/web\\_prod-plq-dad/db\\_pages.getpage?page\\_id=3](http://education.oracle.com/pls/web_prod-plq-dad/db_pages.getpage?page_id=3)

### その他の情報

オラクル製品やサービスに関するその他の情報については、次の URL から参照してください。

<http://www.oracle.com/lang/jp/index.html>

<http://www.oracle.com/technology/global/jp/index.html>

---

**注意：** ドキュメント内に記載されている URL や参照ドキュメントには、Oracle Corporation が提供する英語の情報も含まれています。日本語版の情報については、前述の URL を参照してください。

---





---

---

## Site Studio について

Site Studio は、エンタープライズ規模の Web サイトの包括的な設計、作成および管理を可能にする強力で柔軟な Web 開発プログラムです。Site Studio は、Web サイトの作成とコンテンツ管理が一体化されている点が、従来型の HTML エディタやスクリプト・エディタより優れています。

Site Studio では Web サイト開発プロセスに、デザイナー、マネージャおよびコントリビュータのアプリケーション、管理可能なサイト階層、再利用可能なレイアウト・ページ、フラグメント、コントリビューション・リージョンなどの概念が導入されています。

一緒に使用すると、エンタープライズ規模の Web サイトによくあるボトルネックが存在しない Web サイトを作成できます。

次の項で、Site Studio の詳細を説明します。

- 1-2 ページの「[Site Studio スイート](#)」
- 1-3 ページの「[Site Studio の主な機能](#)」
- 1-4 ページの「[Site Studio ユーザー](#)」
- 1-4 ページの「[Site Studio 公開モデル](#)」

## 1.1 Site Studio スイート

Site Studio には様々なコンポーネントがあり、コンテンツ・サーバーで動作するものやクライアント・コンピュータで動作するものがあります。コンポーネントを一緒に使用すると、組織は、適切なタイミングでシームレスに Web サイトを作成、管理および配置できます。組織は、サイトを担当している各ユーザーのロールを作成および変更できます。

これを実現するため、Site Studio は次のコンポーネントで構成されています。

Site Studio 製品	説明
Content Server コンポーネント	<p>まずこのコンポーネントをコンテンツ・サーバーにインストールする必要があります。Web サイトが機能するために必要です。このコンポーネントには多様なサーバー側機能が用意されており、クライアント（デザイナー）やサイトのその他のコンポーネントと通信します。</p> <p>このコンポーネントには、サイト管理者がサイトの管理に使用する「Site Studio Administration」ページもあります。</p>
Site Studio デザイナ	<p>ユーザー（設計者）がサイト、レイアウト・ページ、フラグメントなどの作成および設計を行う開発環境を提供するクライアント側アプリケーションです。詳細は、『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照してください。</p>
Site Studio マネージャ	<p>セクションの追加や削除、セクションに割り当てられたレイアウト・ページの変更、サイト・プロパティの変更など、ユーザー（管理者）がサイト階層の変更を行う環境を提供する Web ベースのアプリケーションです。詳細は、<a href="#">第 2 章「サイトの管理」</a>を参照してください。</p>
Site Studio コントリビュータ	<p>ユーザー（コントリビュータ）が既存の Web サイトの Web ページへの追加や編集を実行できる、コンテキスト内編集環境を提供するクライアント側アプリケーションです。詳細は、『Oracle Universal Content Management Site Studio コントリビュータ・ガイド』を参照してください。</p>

各アプリケーションは独立していますが、緊密に統合されています。デザイナーで実行されたタスクはマネージャやコントリビュータに影響し、マネージャで実行されたタスクはコントリビュータに影響します。マネージャを使用するユーザーは、時にコントリビュータも使用することになります。

## 1.2 Site Studio の主な機能

Site Studio は、組織が 1 つ以上の Web サイトを作成および管理するまったく新しい方法を提供します。統合された 3 つのアプリケーション (1-2 ページの「[Site Studio スイート](#)」を参照) に加え、次の機能が Site Studio を強力で堅牢な製品にしています。

機能	説明
サイト階層	<p>サイト階層は、サイトの構造を構成するセクションおよびレイアウト・ページのコレクションです。サイト階層を使用してコンテンツの編成や分類を行うと、そのサイト階層が Site Studio により使用され、ナビゲーション・リンクの生成やリージョン・コンテンツの編成など、多くのバックグラウンド・タスクが実行されます。</p>
レイアウト・ページ	<p>レイアウト・ページは、HTML、JavaScript、サーバー側スクリプトが含まれる従来型の Web ページに似ています。ただし、テンプレートのように、サイト全体で再利用できる点が異なります。レイアウト・ページには、プライマリ・ページとセカンダリ・ページの 2 種類があります。それぞれが、異なる目的で機能します。</p> <p><b>プライマリ・ページ</b>は、各セクションのデフォルトまたは最初のページです。このため、サイトの各セクションには、プライマリ・ページを割り当てる必要があります。</p> <p>一方、<b>セカンダリ・ページ</b>は、コントリビュータが Web サイトに新しいファイル (データ・ファイルまたはネイティブ・ドキュメント) を追加する場合にのみ使用されます。セカンダリ・ページは、新しいファイルの背景のような機能を果たすため、コントリビュータは新しい Web ページを設計する必要がありません。このため、コントリビュータがサイトに新しいファイルを追加する予定の場合は、各セクションにセカンダリ・ページが必要です。</p>
リージョン・コンテンツ	<p>リージョンに割り当てられ、サイトのコントリビュータにより編集されるコンテンツです。コントリビュータ・データファイルとネイティブ・ドキュメントのどちらでもかまいません。</p> <p><b>コントリビュータ・データファイル</b> (または略してデータファイル) は、コントリビュータ・アプリケーションを使用して編集できる XML ファイルです。このファイルを更新すると、このファイルが割り当てられたページにすぐに表示されます。</p> <p><b>ネイティブ・ドキュメント</b>は、そのドキュメントの作成に使用したアプリケーションで編集するサード・パーティ・ファイルです。たとえば、Microsoft Word は一般的に使用されるネイティブ・ドキュメントです。ファイルを更新すると、(Dynamic Converter を使用して) Web で表示可能な形式に変換され、そのファイルが割り当てられているページに表示されます。</p>
フラグメント	<p>フラグメントは、テキスト、コードおよび関連ファイルのコンテナです。Web ページに表示されるほぼすべてをフラグメントにできますが、通常は、ナビゲーション・メニュー、動的リストまたはカスタム・フッターなどのサイト機能に使用します。フラグメントは、機能をパッケージ化し、単一または複数のサイトで再利用するのに便利です。</p> <p>フラグメントは、カスタム・パラメータを追加する場合に特に便利です。これを実行する場合、その主要な機能を保ったまま、レイアウト・ページに追加するたびにフラグメントを変更できます。</p>

## 1.3 Site Studio ユーザー

Site Studio には、3 タイプのユーザーが、サイトの作成および管理を行える環境が用意されています。

- **デザイナー**: Web マスターまたは Web 開発者。このユーザーは、サイトの作成、レイアウト・ページ的设计、フラグメントの追加や編集、マネージャやコントリビュータへのサイト領域の指定を担当します。
- **マネージャ**: 課または部署の管理者。このユーザーは、サイトの構造、セクションの変更、新しい領域の作成、レイアウト・ページの再割当てなどを担当します。
- **コントリビュータ**: 営業または販売チームのメンバー。このユーザーは、各ページに表示されるコンテンツの追加および編集を担当します。

通常、1人の設計者が複数の管理者と作業し、各管理者は1人以上のコントリビュータと作業します。設計者が、サイト階層の作成やコンテンツの配置場所の決定を行う管理者にサイトを委任する場合があります。管理者は、サイト上のページの更新を開始することをコントリビュータに通知します。

## 1.4 Site Studio 公開モデル

Site Studio は、設計者、管理者およびコントリビュータの3つのユーザー・モデルを中心に設計されています。設計者はサイトを作成し、管理者はサイトを運営し、コントリビュータはサイトのコンテンツを追加および編集します。このモデルを使用すると、組織は簡単にサイトを作成して運営し、組織内のユーザーは適切なタイミングでコンテンツを更新できます。

実行されるタスクと、各タスクの実行に使用されるアプリケーションのサマリーを次に示します。

- 1-5 ページの「[手順 1: デザイナーでのサイトの作成](#)」
- 1-6 ページの「[手順 2: マネージャでのサイトの管理](#)」
- 1-7 ページの「[手順 3: コントリビュータでのコンテンツの追加および編集](#)」
- 1-8 ページの「[手順 4: 完成した Web サイトのプレビューおよび配置](#)」

---

---

**注意:** 組織は必要に応じて、このモデルに従うことも、独自の公開モデルを使用することもできます。

---

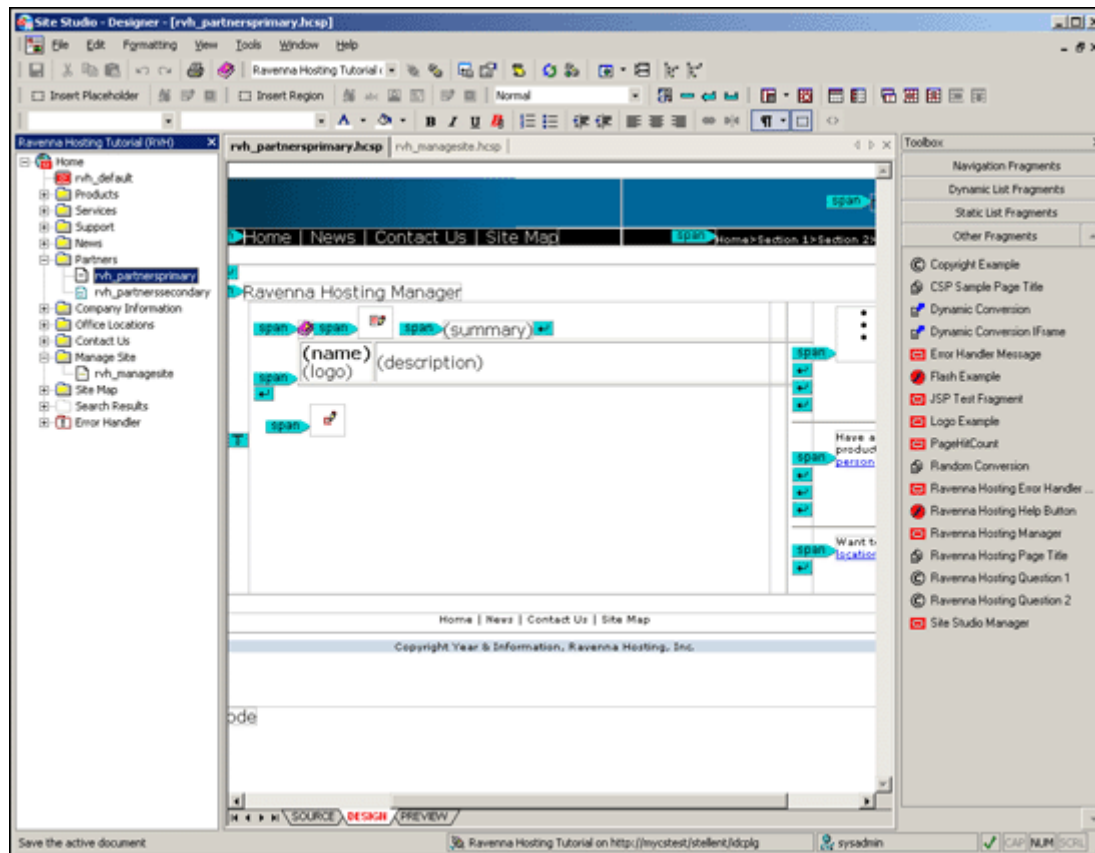
---

## 1.4.1 手順 1: デザイナでのサイトの作成

サイトの設計者は、(サイトをホスティングしているサーバーへの) サイト接続、サイト名およびサイト・アドレスの作成からプロセスを開始します。設計者は、サイト階層をアセンブルします (このタスクが管理者に委任されている場合を除く)。レイアウト・ページの作成、フラグメントの追加、マネージャおよびコントリビュータに指定されたサイト領域の作成が実行されます。

これらのタスクはすべて Site Studio デザイナで実行されます。

図 1-1 デザイナ・アプリケーション



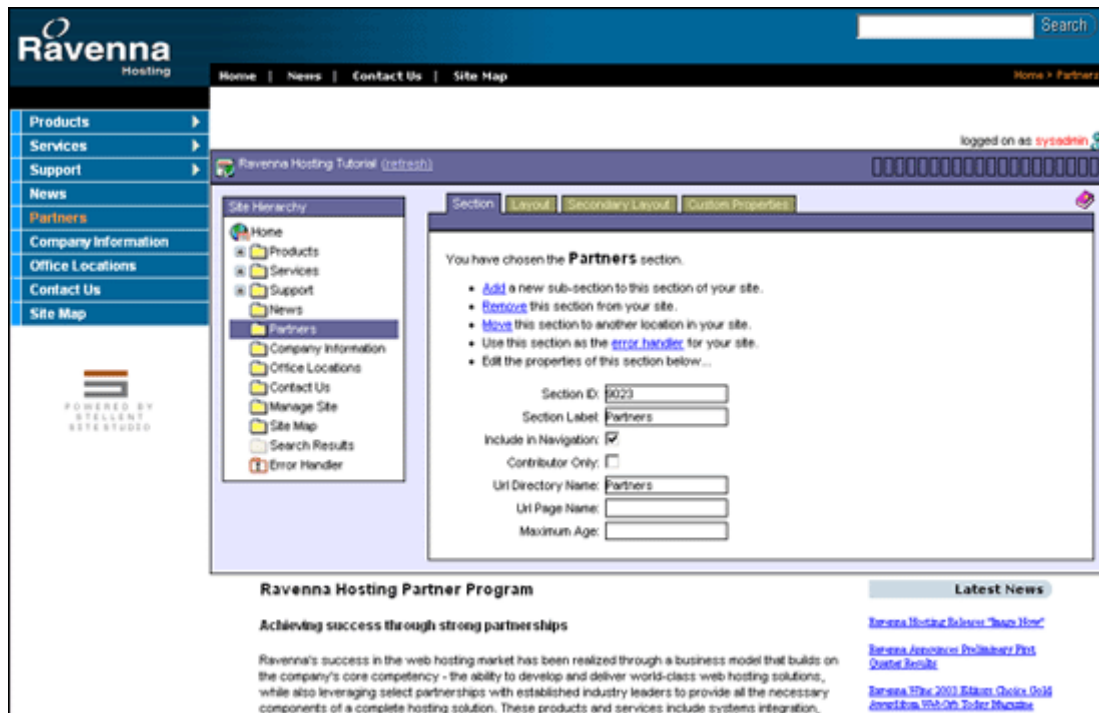
完了したら、設計者からサイト管理者およびサイト・コントリビュータに、サイトが作成され、管理および編集が必要であることが通知されます。設計者はこれを実行するために、サイトのコントリビュータ専用セクションに指示を配置するか、ワークフローを使用してより形式的なプロセスを実装します。

## 1.4.2 手順 2: マネージャでのサイトの管理

管理者がサイトの場所を入力すると、少なくともサイト階層の一部とレイアウト・ページが完成します。その後、管理者はサイト階層への追加や確認を行います。つまり、セクションの追加や変更、レイアウト・ページの割当て、およびサイト全体に及ぶその他のプロパティの変更を行います。

これらのタスクはすべて Site Studio マネージャで実行されます。

図 1-2 ブラウザを使用してアクセスしたマネージャ・アプリケーション



設計者がどのように設定したかにより、マネージャをサイトのすべてのページで使用できるか、専用のセクションで使用できるかが異なります。Content Server のユーザー・インタフェースの Site Studio 管理ページから開くこともできます。

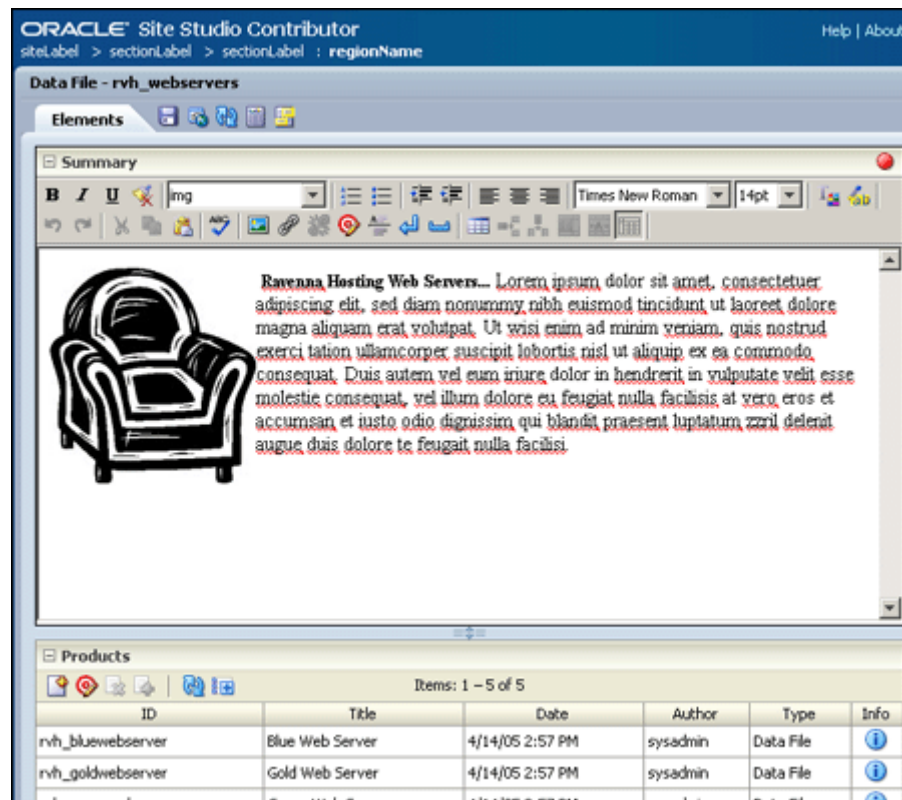
完了したら、管理者は 1 人以上のコントリビュータに、サイトのコンテンツの追加および編集を開始できることを通知します。管理者は、サイトのコントリビュータ専用セクションに指示を渡すか、ワークフローを使用してより形式的なプロセスを実装します。

### 1.4.3 手順 3: コントリビュータでのコンテンツの追加および編集

コントリビュータが作業を開始する際には、サイト階層全体にコンテンツを配置できるようになっています。コントリビュータは、各ページに表示されるコンテンツを追加および編集できます。つまり、テキスト、グラフィック、リスト、新しいページへのリンクなどの作業が可能です。

これらのタスクはすべて Site Studio コントリビュータで実行されます。

図 1-3 コントリビュータを介した Web ページの編集



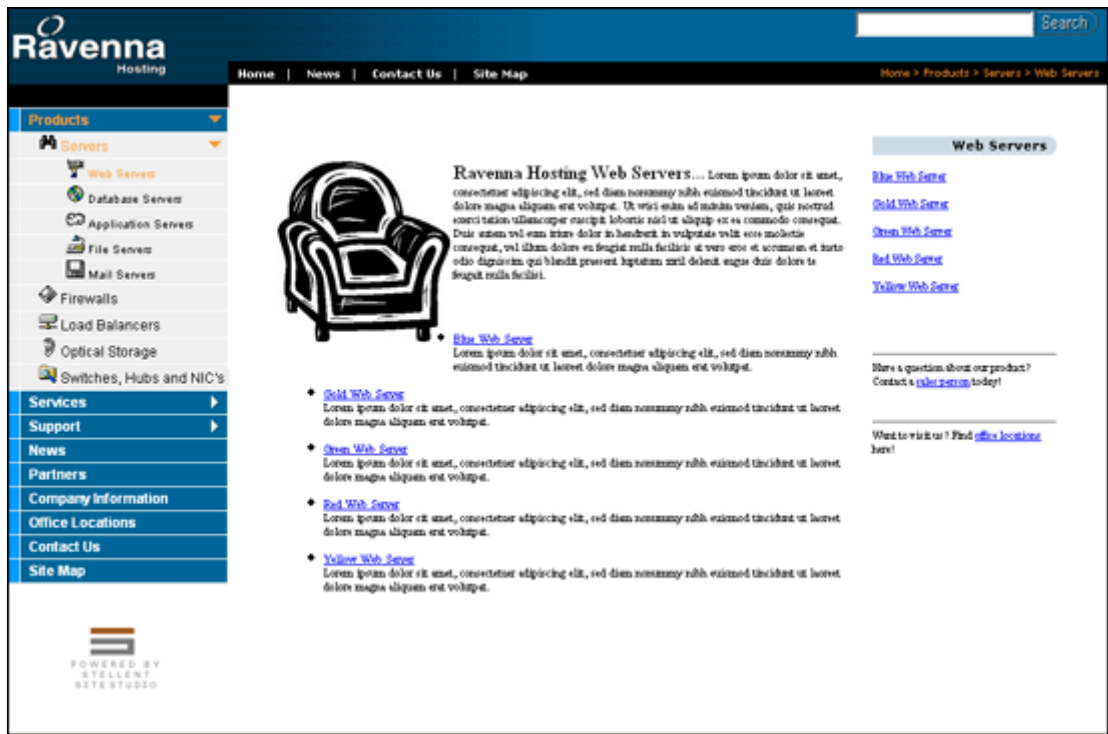
設計者および管理者がサイトをどのように設定したかにより、コントリビュータの作業内容は、ページや Web サイトごとに異なります。コントリビュータのみで作業すること（データファイルを編集する場合）も、サード・パーティ・アプリケーションのみで作業すること（ネイティブ・ドキュメントを編集する場合）もあります。また、Site Studio コントリビュータで、多数のオプションが有効化されている場合も無効化されている場合もあります。

完了したら、コントリビュータはその他のコントリビュータまたはレビューアに、ページを追加または編集したことを通知します。コントリビュータ専用セクションで相互にやりとりするか、ワークフローの形式的な確認プロセスに従います。

## 1.4.4 手順 4: 完成した Web サイトのプレビューおよび配置

全員の作業が完了したら、完成した Web サイトを公開できます。

図 1-4 編集後の公開版の Web ページ



ユーザーにサイトを配布するには、消費専用のサーバーにレプリケートする必要があります。

**注意：** Site Studio デザイナーおよびコントリビュータの詳細は、各アプリケーションに同梱されているドキュメントを参照してください。



---

## サイトの管理

この項の内容は次のとおりです。

- 2-2 ページの「マネージャについて」
- 2-2 ページの「マネージャ・インタフェース」
- 2-3 ページの「マネージャの開始」
- 2-4 ページの「セクションの追加」
- 2-5 ページの「セクション名の変更」
- 2-5 ページの「セクションの順序の変更」
- 2-7 ページの「セクションの削除」
- 2-7 ページの「Web サイトへのセクションの表示」
- 2-7 ページの「サイト・ナビゲーションにセクションを含めない理由」
- 2-8 ページの「コントリビュータ専用としてのセクションの指定」
- 2-8 ページの「エラー・ハンドラとしてのセクションの指定」
- 2-9 ページの「セクションまたはページに関連付けられた URL の変更」
- 2-9 ページの「最大経過時間の値の変更」
- 2-10 ページの「カスタム・プロパティの変更」
- 2-10 ページの「レイアウト・ページのプレビュー」
- 2-11 ページの「セクションへのプライマリ・ページの割当て」
- 2-12 ページの「セクションへの外部 URL の割当て」
- 2-13 ページの「セクションへのセカンダリ・ページの割当て」
- 2-13 ページの「セクションからのレイアウト・ページの削除」
- 2-14 ページの「レイアウトのコンテンツ情報ページの表示」

## 2.1 マネージャについて

Site Studio マネージャは、サイト階層の管理および各セクションの変更に使用できる Web ベースのアプリケーションです。マネージャを使用すると、セクションの追加や削除、セクションに関連付けられたレイアウト・ページの変更、サイトのプロパティの変更などを行うことができます。

マネージャ・アプリケーションは、組織のサイト管理者用に設計されています。コントリビュータが各ページの編集を担当する一方、サイト管理者は、通常、サイトの管理を担当します。サイトの全体的な構造や外観を変更することができるため、サイト管理者の役割は重要です。

## 2.2 マネージャ・インタフェース

マネージャ・インタフェースは、サイト階層や各セクションの変更を実行できる環境を提供します。

図 2-1 マネージャ・インタフェース



左側の「Site Hierarchy」ペインを使用して、セクションの追加や削除、再編成および名前の変更を行います。右側の 4 つのタブがあるペインを使用して、各プロパティの変更および各セクションに関連付けられたレイアウト・ページの変更を行います。

次に、より詳細な説明を示します。

要素	タスク
Site Hierarchy	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいセクションの追加。</li> <li>セクションの削除。</li> <li>セクションの再編成。</li> </ul>
Section	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいセクションの追加。</li> <li>セクションの削除。</li> <li>セクションの移動。</li> <li>エラー・ハンドラとしてのセクションの指定。</li> <li>セクションのプロパティ（ラベル、ナビゲーション、コントリビューション・モード、URL ディレクトリ名など）の変更。</li> </ul>
Layout	<ul style="list-style-type: none"> <li>セクションに割り当てられたプライマリ・ページのコンテンツ情報ページの表示。</li> <li>セクションに割り当てられたプライマリ・ページの削除。</li> <li>セクションに割り当てられたプライマリ・ページの変更。</li> <li>セクションに割り当てられたプライマリ・ページのプレビュー。</li> </ul>

要素	タスク
Secondary Layout	セクションに割り当てられたセカンダリ・ページのコンテンツ情報ページの表示。 セクションに割り当てられたセカンダリ・ページの削除。 セクションに割り当てられたセカンダリ・ページの変更。 セクションに割り当てられたセカンダリ・ページのプレビュー。
Custom Properties	セクションのカスタム・プロパティの変更。 カスタム・プロパティはサイトの設計者により作成され、通常は、特定のサイトまたはコンテンツ・サーバーの関連サイトに適用されます。詳細は、サイトの設計者に問い合わせてください。

各インタフェース要素の詳細は、付録 A 「ユーザー・インタフェース」を参照してください。

**注意：**サイトの設計者がデザイナー・アプリケーションを使用して、使用可能なオプション、色および全体的なルック・アンド・フィールをカスタマイズしている可能性があるため、マネージャに表示される内容は前述の説明と異なる場合があります。

## 2.3 マネージャの開始

マネージャ・アプリケーションは、管理する Web サイトから直接開くことも、Content Server の「Site Studio Administration」ページ（特に「Manage Web Sites」ページ）から開くこともできます。多くの場合、Web サイトから直接開きます。

設計者がサイトをどのように設定したかにより、マネージャをすべてのページで表示できる場合と、専用のセクションでのみ表示できる場合があります。いつでも表示されるように設定できますが、多くの場合マネージャを表示するのは、ページをコントリビューション・モードで表示しているときのみです。マネージャがどのように設定されているか、サイトの設計者への問合せが必要な場合があります。

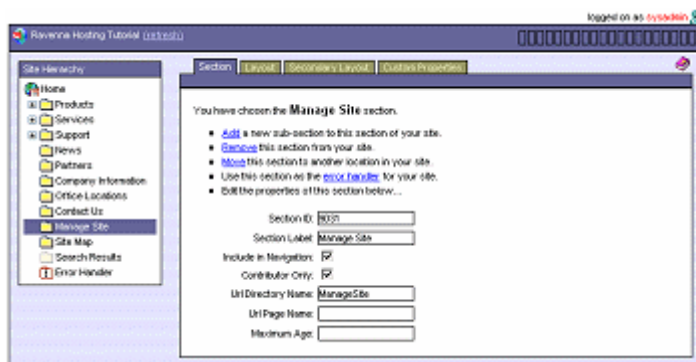
Site Studio マネージャを開くには、次のタスクを実行します。

1. 管理する Web サイトを表示します。
2. マネージャが有効化されているセクションまたはページに移動します。
3. そのページに、閉じた状態または開いた状態でマネージャ・アプリケーションが表示されます（図を参照）。
4. 閉じた状態の場合は、「manage site」をクリックします。

図 2-2 閉じた状態のマネージャ



図 2-3 開いた状態のマネージャ



マネージャを開いたら、サイト階層を変更できます。

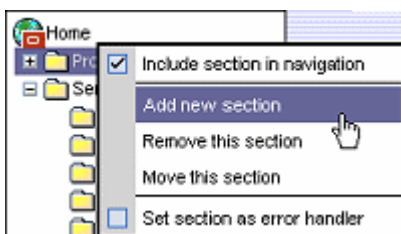
## 2.4 セクションの追加

「Site Hierarchy」ペイン、または「Section」タブの下にあるオプションを使用して、サイトにセクションを追加できます。

「Site Hierarchy」ペインを使用してサイトにセクションを追加するには、次のタスクを実行します。

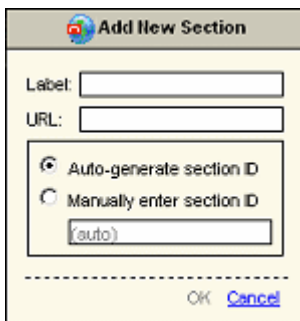
1. 「Site Hierarchy」ペインで、セクションを追加するサイトを右クリックして、「Add new section」を選択します。

図 2-4 「Site Hierarchy」ペインを使用した新しいセクションの追加



2. 「Add New Section」ダイアログ・ボックスで、「Label」に入力します。

図 2-5 「Add New Section」ダイアログ・ボックス




---

**注意：**「Site Hierarchy」ペインおよび Web サイトのナビゲーション・メニューにラベルが表示されます。

---

自動的に指定される URL とは異なるものにする場合は URL を入力します。URL の値には、空白や特殊文字を含めないでください。URL の値は、Web アドレスのそのセクションを表すものです（たとえば、<http://www.mysite.com/product1/index.htm> というアドレスの場合、URL の値は `product1` です）。この値は、そのセクションへのパスベースのすべてのリンクにも使用されます。

3. このセクションが Site Studio により識別される方法を選択します。
  - **Auto-generate section ID:** Site Studio により ID が自動的に生成されます。
  - **Manually enter section ID:** セクションに独自の ID を指定します。（セクション ID はコンテンツ・サーバー内で一意であることが必要です。）

---

---

**注意：**セクション ID（ノード ID とも呼ばれる）は、セクションをターゲットとするすべての ID ベースのリンクに使用されます。

---

---

4. 「OK」をクリックしてダイアログ・ボックスを閉じ、サイト階層にセクションを追加します。

サイト階層にセクションを追加したら、「Section」設定を使用して、セクションのプロパティを変更できます。サイト階層に追加した新しいセクションは、ナビゲーションに含まれるまで Web サイトには表示されません（2-7 ページの「[Web サイトへのセクションの表示](#)」を参照）。

## 2.5 セクション名の変更

ラベルおよびその他の関連情報を変更することで、サイト階層のセクション名を変更できます。これらの設定は、「Section」プロパティで変更できます。

セクション名を変更するには、次のタスクを実行します。

1. 「Site Hierarchy」ペインで目的のセクションを選択します。
2. 「Section」プロパティで、「Section Label」に新しい値を入力します。
3. セクションに使用されているパスを変更するには、新しい **URL ディレクトリ名** を入力します（2-9 ページの「[セクションまたはページに関連付けられた URL の変更](#)」を参照）。
4. キーボードで [Enter] を押すか、マネージャ内の別の場所をクリックします。

---

---

**注意：**変更するとそのセクションをターゲットとするリンクが壊れてしまうため、「Section ID」プロパティは通常無効化されています。

---

---

## 2.6 セクションの順序の変更

サイト階層内のセクションの順序を変更できます。セクションの順序は、Web サイトでどのように表示されるかに影響します。セクションの順序は、マネージャで 2 つの異なる方法を使用して変更できます。

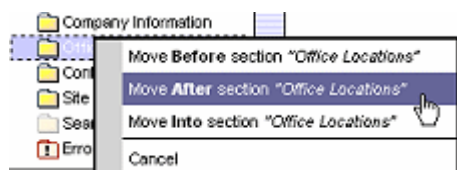
- 2-6 ページの「[「Site Hierarchy」ペインを使用したセクションの順序の変更](#)」
- 2-6 ページの「[移動コマンドを使用したセクションの順序の変更](#)」

## 2.6.1 「Site Hierarchy」 ペインを使用したセクションの順序の変更

「Site Hierarchy」 ペインを使用してセクションの順序を変更するには、次のタスクを実行します。

1. 「Site Hierarchy」 ペインでセクションをクリックし、それを表示させるサイト階層の場所までドラッグします。
2. マウスを放すと、セクションをどこに配置するかを尋ねるポップアップ・メニューが表示されます。

図 2-6 「Site Hierarchy」 ペイン内でのセクションの移動



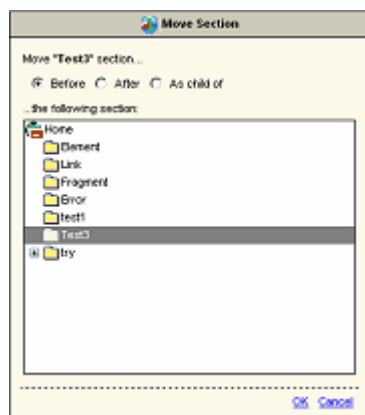
3. 「Move Before section...」、「Move After section...」または「Move Into section...」のいずれかアクションを選択します。少し遅れて、サイト階層の新しい場所にセクションが表示されます。

## 2.6.2 移動コマンドを使用したセクションの順序の変更

移動コマンドを使用してセクションの順序を変更するには、次のタスクを実行します。

1. 「Site Hierarchy」 ペインで、移動するセクションをクリックします。
2. 「Section」 プロパティで、「Move」 コマンドをクリックします。
3. 「Move Section」 ダイアログ・ボックスで、セクションの移動先のサイト階層の場所をクリックします。

図 2-7 「Move Section」 ダイアログ・ボックスでのセクションの移動先の選択



4. 「Before」、「After」または「As child of」のいずれかアクションをクリックします。
  5. 「OK」 をクリックしてダイアログ・ボックスを閉じ、マネージャに戻ります。
- 少し遅れて、サイト階層の新しい場所にセクションが表示されます。

## 2.7 セクションの削除

サイト階層からセクションを削除して、Web サイトに表示されないようにすることができます。これは、マネージャで2つの異なる方法を使用して実行できます。

セクションを削除するには、次のタスクを実行します。

1. 「Site Hierarchy」ペインで、削除するセクションを右クリックして、「**Remove this section**」をクリックします。または、「Section」プロパティで、「**Remove**」コマンドをクリックします。
2. 「OK」をクリックしてメッセージを確認します。

少し遅れて、サイト階層からセクションが削除されます。

---

**注意：**セクションを削除しても、そのセクションに関連付けられていたコンテンツ（レイアウト・ページ、フラグメント、グラフィックなど）はコンテンツ・サーバーに残り、Web サイトに関連付けられたままになります。

---

## 2.8 Web サイトへのセクションの表示

サイト階層内の各セクションは、含めない場合を除き、Web サイトのナビゲーション・メニューにリンクとして表示されます。サイト・ナビゲーションにセクションを表示しない理由（2-7 ページの「[サイト・ナビゲーションにセクションを含めない理由](#)」を参照）はいくつかありますが、多くの場合、作成するセクションをサイト・ナビゲーションに含めます。

デフォルトで、作成するセクションはサイト・ナビゲーションに含まれないため、リンクとして自動的に Web サイトに追加されません。「Site Hierarchy」ペインで、アクティブなフォルダ・アイコン（[図 2-8](#)）のセクションは含まれており、非アクティブなフォルダ・アイコン（[図 2-8](#)）のセクションは含まれていません。

**図 2-8 アクティブおよび非アクティブなフォルダ・アイコン**



Web サイトにセクションを表示するには、次のタスクを実行します。

- 「Site Hierarchy」ペインで、目的のセクションを右クリックして、ボックス「**Include section in navigation**」を選択します。
- または
- 「Site Hierarchy」ペインで目的のセクションを選択し、「Section」プロパティのボックス「**Include in navigation**」を選択します。

セクションを非表示にするには、どちらかの場所からこのボックスの選択を解除します。

## 2.9 サイト・ナビゲーションにセクションを含めない理由

サイト・ナビゲーションにセクションを表示しない理由はいくつかあります。次に、例をいくつか示します。

- **新しいコンテンツの導入**

Web サイトに新しいセクションまたはレイアウト・ページを導入する際には、編集およびテストが完了するまで、公式に表示されないようにすることが必要な場合があります。サイト・ナビゲーションに含めないことが、これを実現する1つの方法です。

新しいコンテンツを非表示にする別の方法は、セクションをコントリビューション・モードでのみ表示できるようにする（2-8 ページの「[コントリビュータ専用としてのセクションの指定](#)」を参照）か、Workflow を使用することです。

- **検索結果ページ**

Site Studio の Web サイトで検索を行う際は、設計者により、検索結果ページの表示セクションが指定されます。ただし、このセクションは、検索以外のコンテキストでの表示用ではないため、サイト・ナビゲーションでは非表示にする必要があります。

- **カスタム・エラー・ページ**

Site Studio のカスタム・エラー機能を使用する場合、設計者により、カスタム・エラー・ページの表示セクションが指定されます。ただし、このセクションは、エラー・メッセージの受信以外のコンテキストでの表示用ではないため、サイト・ナビゲーションでは非表示にする必要があります (2-8 ページの「[エラー・ハンドラとしてのセクションの指定](#)」を参照)。

## 2.10 コントリビュータ専用としてのセクションの指定

サイトがコントリビューション・モードで表示された場合にのみ、サイトのセクションが表示されるように指定できます。コントリビュータ専用セクションの作成は、コントリビュータと直接通信する場合や、公式に使用可能にする前にコンテンツをプレビューする場合などに便利です。

セクションをコントリビュータ専用として指定するには、次のタスクを実行します。

1. 「Site Hierarchy」ペインで目的のセクションを強調表示します。
2. 「Section」プロパティで、ボックス「**Contributor Only**」を選択します。

コントリビューション・モードでのみ表示される場合でも、サイト・ナビゲーションにセクションが含まれていることの確認が必要な場合があります (2-7 ページの「[Web サイトへのセクションの表示](#)」を参照)。

## 2.11 エラー・ハンドラとしてのセクションの指定

様々な状況で、サイトへのビジターまたはコントリビュータに、コンテンツ・サーバーで生成されたエラー・メッセージが表示される場合があります。

ユーザーにこのようなエラーが表示されるのを防ぐために、サイトの設計者は、カスタム・エラー・ページを作成できます。その後、設計者は、サイトのセクションがエラー・ハンドラとして機能するように指定し、そのセクションにエラー・ページを割り当てることができます。

セクションをエラー・ハンドラとして指定するには、次のタスクを実行します。

1. エラー・ハンドラとして機能させるセクションを「Site Hierarchy」ペインで強調表示します。(または、必要な場合には新しいセクションを作成します。2-4 ページの「[セクションの追加](#)」を参照してください。)
2. セクションを右クリックして、ボックス「**Set section as error handler**」を選択します。または、「Section」プロパティで、「**error handler**」コマンドをクリックします。

これで、セクションにエラー・ハンドラ・アイコン (図 2-9) が表示されます。

### 図 2-9 エラー・ハンドラ・アイコン



3. エラー・ハンドラ・セクションが強調表示された状態で、「Layout」タブをクリックします。
4. 「Preview layout」の隣で、(カスタム・エラー・ページとして機能している) レイアウト・ページを選択して、「Apply」をクリックします。

セクションをエラー・ハンドラとして指定したら、そのセクションをサイト・ナビゲーションに含めないでください (2-7 ページの「[Web サイトへのセクションの表示](#)」を参照)。



ユーザーにエラー・メッセージが表示される一般的な例には、ファイルがリクエストされているセクションにセカンダリ・ページがない場合や、サイトからファイル（データファイルまたはネイティブ・ドキュメント）が削除されているがハイパーリンクがそのファイルを指している場合が含まれます。

---

**注意：** マネージャでは、ホームページをエラー・ハンドラ・ページとして設定できます。デザイナーではこれは不可能であるため、デザイナーを使用して設定を解除することはできません。

---

## 2.12 セクションまたはページに関連付けられた URL の変更

セクション（またはページ）に関連付けられた URL は、完全な Web アドレスのそのセクションを表すものです（たとえば、`http://www.mysite.com/product1/index.htm` というアドレスの場合、セクションに関連付けられている URL は `product1` で、ページに関連付けられている URL は `index.htm` です）。この値は、そのセクションへのパスベースのすべてのリンクにも使用されます。値には、空白や特殊文字を含めないでください。

マネージャの「Section」プロパティでこの設定を変更できます。

URL を変更するには、次のタスクを実行します。

1. 「Site Hierarchy」ペインで目的のセクションを選択します。
2. 「Section」プロパティで、次のプロパティの値を指定します。
  - **Url Directory Name:** Web サイト・アドレスのこのセクションを表す URL の値
  - **Url Page Name:** Web サイト・アドレスの（このセクションに関連付けられている）プライマリ・ページを表す URL
3. キーボードで **[Enter]** を押すか、マネージャ内の別の場所をクリックします。

セクションの「Label」に使用している値とは異なる値を「Url Directory Name」に使用できます。「Url Page Name」を指定しない場合、`index.htm` を使用してプライマリ・ページが表示されます。

---

**注意：** セカンダリ・ページに使用される名前は、表示されるファイル（コントリビュータ・データファイルまたはネイティブ・ドキュメント）のコンテンツ ID (`dDocName`) です。この値の変更の詳細は、サイト設計者に問い合わせてください。

---

## 2.13 最大経過時間の値の変更

Site Studio の Web サイトのパフォーマンスおよびセキュリティを向上させる方法の 1 つは、サーバーにリバース・プロキシ・キャッシュを実装することです。サーバーとユーザーの間にキャッシュを配置することで、ビジター状態になる可能性のあるサーバーにかかる負荷が減ります。

組織にそのような設定がある場合は、マネージャを使用して、特定のページをキャッシュできる最大の時間を指定できます。

最大経過時間の値を変更するには、次のタスクを実行します。

1. 「Site Hierarchy」ペインで目的のセクションを強調表示します。
2. 「Section」プロパティで、「Maximum Age」に値（秒単位）を入力します。

## 2.14 カスタム・プロパティの変更

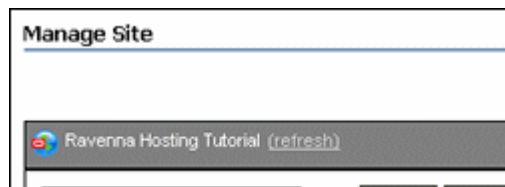
サイトにカスタム・プロパティがある場合は、マネージャに追加の「Custom Properties」タブが表示されます。これらのプロパティはサイトの設計者により作成され、通常は、特定のサイトまたはコンテンツ・サーバーの関連サイトに適用されます。

カスタム・プロパティを使用すると、サイトの各セクションに異なる値を指定できるため、サイトでそのセクションがどのように表示されるか、またはどのように機能するかを決定できます（設計者は、それらの値を読み取り、特定のコマンドを実行するフラグメントを作成できます）。

カスタム・プロパティを変更するには、次のタスクを実行します。

1. 「Site Hierarchy」ペインで目的のセクションを強調表示します。
2. 「Custom Properties」タブをクリックします。
3. 各カスタム・プロパティに必要な値を入力します。

図 2-10 カスタム・プロパティの値の変更



**注意：** カスタム・プロパティの正しい使用方法については、サイト設計者に問い合せてください。

## 2.15 レイアウト・ページのプレビュー

サイトを管理する際、頻繁に実行するタスクの1つはレイアウト・ページのプレビューです。レイアウト・ページのプレビューは、セクションに最適なレイアウト・ページの決定、サイト階層またはセクション・プロパティに対する変更のプレビューなどに便利です。

マネージャの「Layout」タブおよび「Secondary Layout」タブを使用して、プライマリ・ページとセカンダリ・ページをプレビューできます。

レイアウト・ページをプレビューするには、次のタスクを実行します。

1. 「Site Hierarchy」ペインで目的のセクションを強調表示します。
2. プライマリ・ページをプレビューするには、「Layout」タブをクリックします。  
セカンダリ・ページをプレビューするには、「Secondary Layout」タブをクリックします。

3. 「Preview layout」の隣で、メニューをクリックして、目的のレイアウト・ページを選択します。ウィンドウにレイアウト・ページが表示されます（図 2-11）。

図 2-11 レイアウト・ページの表示のプレビュー



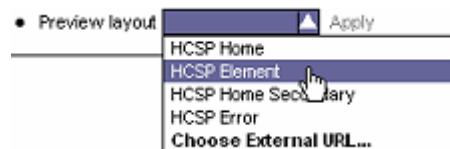
## 2.16 セクションへのプライマリ・ページの割当て

サイト階層の各セクションには、そのセクションのデフォルト・ページまたは最初のページとして機能する、プライマリ・ページ（または外部 URL）が指定されている必要があります。各セクションに一意的なレイアウト・ページを割り当てることも、複数のセクションに同じレイアウト・ページを再利用することもできます。セクションにプライマリ・ページを割り当てるには、マネージャの「Layout」タブを使用します。

セクションにプライマリ・ページを割り当てるには、次のタスクを実行します。

1. 「Site Hierarchy」ペインで目的のセクションを強調表示します。
2. 「Layout」タブをクリックします。
3. 「Preview layout」の隣で、メニューをクリックして、リストから目的のレイアウト・ページを選択します。

図 2-12 プライマリとして割り当てるページの選択



4. 「Apply」をクリックします。

選択したレイアウト・ページが、下にあるプレビュー領域に表示されます。

サイトにホームページを追加するには、「Site Hierarchy」ペインでサイトのルートを選択し、プライマリ・ページを割り当てます。プライマリ・ページを使用する方法の代替として、セクションに使用する外部 URL を指定できます（2-12 ページの「セクションへの外部 URL の割当て」を参照）。

## 2.17 セクションへの外部 URL の割当て

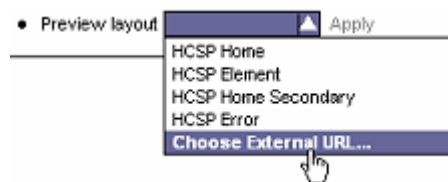
セクションにプライマリ・ページを割り当てるかわりに、外部 URL を割り当てられます。これにより、セクションにはレイアウト・ページのかわりに、別の Web サイトの Web ページが使用されます。セクションへのビジターは、指定した Web ページの URL に送られます。

マネージャの「Layout」タブを使用して、セクションに外部 URL を割り当てます。

セクションに外部 URL を割り当てるには、次のタスクを実行します。

1. 「Site Hierarchy」 ペインで目的のセクションを強調表示します。
2. 「Layout」 タブをクリックします。
3. 「Preview layout」 の隣で、メニューをクリックして、「Choose External URL...」 を選択します。

図 2-13 セクションに割り当てる外部 URL の選択



4. 「Choose External URL」 ダイアログ・ボックスで、サイトのそのセクションに使用するアドレスを指定します。

図 2-14 サイトに割り当てる URL の入力



5. 「OK」 をクリックします。

指定した Web サイトがプレビュー領域に表示されます。

外部 URL の使用は、パートナ・サイトや同じ組織内の部門レベルのサイトへのリンクに便利です。外部 URL をプライマリ・ページのかわりに割り当てることはできますが、セカンダリ・ページのかわりにすることはできません。

## 2.18 セクションへのセカンダリ・ページの割当て

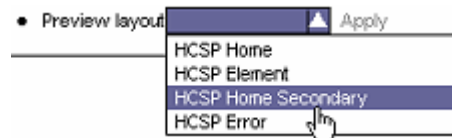
コントリビュータが Web サイトのある部分に新しいファイル（データファイルまたはネイティブ・ドキュメント）を追加する予定がある場合、サイト階層の各セクションにはセカンダリ・ページが必要です。セカンダリ・ページはそれらのファイルの背景のような機能を果し、コントリビュータが Web サイトにさらにページを追加できるようにします。

各セクションに一意のレイアウト・ページを割り当てることも、複数のセクションに同じレイアウト・ページを再利用することもできます。マネージャの「Secondary Layout」タブを使用して、セクションにセカンダリ・ページを割り当てられます。

セクションにセカンダリ・ページを割り当てるには、次のタスクを実行します。

1. 「Site Hierarchy」ペインで目的のセクションを強調表示します。
2. 「Secondary Layout」タブをクリックします。
3. 「Preview layout」の隣で、メニューをクリックして、リストから目的のレイアウト・ページを選択します。

図 2-15 セカンダリとして割り当てるページの選択



4. 「Apply」をクリックします。  
選択したレイアウト・ページが、プレビュー領域に表示されます。

---

**注意：** サイト階層のルート（ホームページ以外）にもセカンダリ・ページを追加できます。これを実行するには、「Site Hierarchy」ペインでサイトのルートを選択し、セカンダリ・ページを割り当てます。

---

## 2.19 セクションからのレイアウト・ページの削除

セクションに割り当てられたレイアウト・ページを削除できます。レイアウト・ページを削除するとセクションへの割当ても削除されますが、通常は、その他のセクションやコンテンツ・サーバーからは削除されません。

セクションからレイアウト・ページを削除するには、次のタスクを実行します。

1. 「Site Hierarchy」ペインで目的のセクションを強調表示します。
2. プライマリ・ページを削除するには、「Layout」タブをクリックします。  
セカンダリ・ページを削除するには、「Secondary Layout」タブをクリックします。
3. レイアウト・ページの隣で、「clear」をクリックします。  
割り当てられたレイアウト・ページがない状態でページがリフレッシュされます。

## 2.20 レイアウトのコンテンツ情報ページの表示

割り当てられているメタデータや作成者などを確認するために、プライマリまたはセカンダリ・レイアウト・ページのコンテンツ情報ページの表示が必要になる場合があります。マネージャを使用すると、レイアウトのコンテンツ情報ページを簡単に表示できます。

レイアウトのコンテンツ情報ページを開くには、次のタスクを実行します。

1. 「Site Hierarchy」 ペインで目的のセクションを強調表示します。
2. プライマリ・ページの場合は、「Layout」 タブをクリックします。  
セカンダリ・ページの場合は、「Secondary Layout」 タブをクリックします。
3. レイアウト・ページの隣にある情報アイコン (図 2-16) をクリックします。

### 図 2-16 情報アイコン



レイアウト・ページに割り当てられているメタデータの表示や更新が可能な、コンテンツ・サーバーのコンテンツ情報ページに移動します。

---

---

## ユーザー・インタフェース

Site Studio マネージャには、サイトの管理に使用する様々な管理ページがあります。

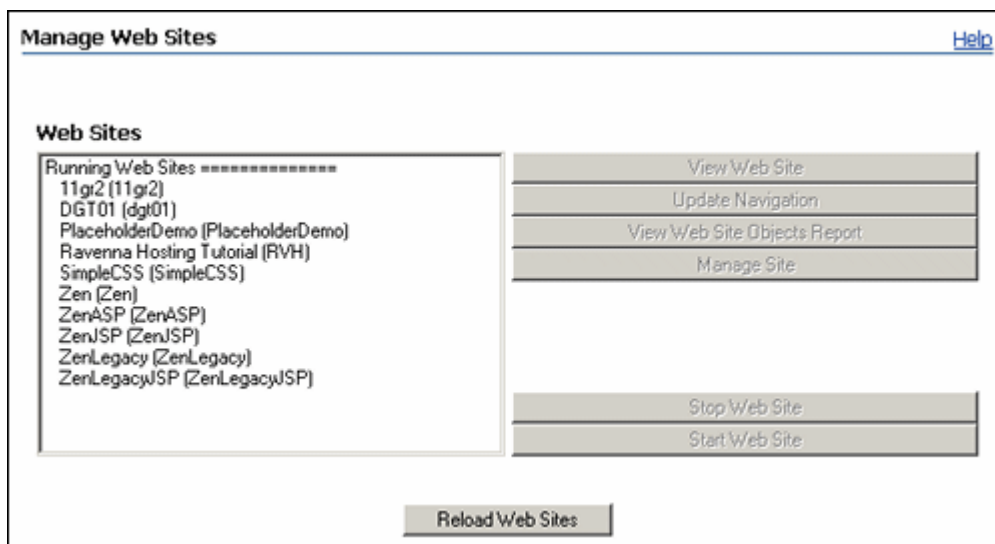
- A-2 ページの「[Manage Web Sites](#) ページ」
- A-3 ページの「[Manage Site](#) ページ」
- A-4 ページの「[Section](#) タブ」
- A-5 ページの「[Layout](#) タブ」
- A-6 ページの「[Secondary Layout](#) タブ」
- A-7 ページの「[Custom Properties](#) タブ」

## A.1 「Manage Web Sites」 ページ

このページを使用して、Content Server 上の使用可能なすべての Web サイトを管理します。このマニュアルで説明されているように、ここから、Web サイトの表示、オブジェクト・レポートの表示、Web サイトの開始や停止（表示可能または表示不可）、および選択した各 Web サイトの管理制御を実行できます。

このページは、Content Server のユーザー・インタフェースにある「Administration」ページの「Manage Web Sites」を選択すると表示されます。

図 A-1 「Manage Web Sites」 ページ



---

**注意：** このページのその他の要素の詳細は、『Oracle Universal Content Management Site Studio デザイナ・ガイド』を参照してください。

---



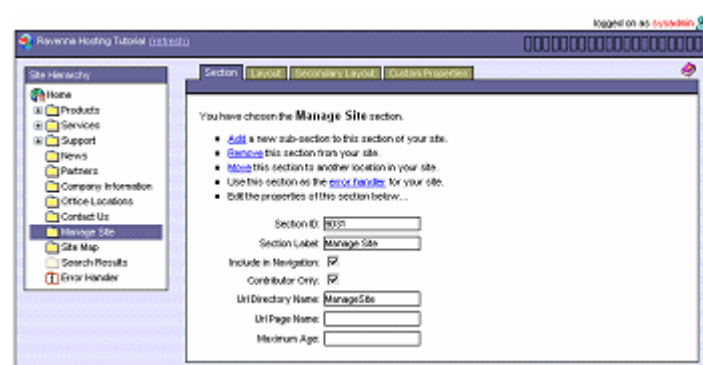
## A.2 「Manage Site」 ページ

このページを使用し、Site Studio コントリビュータを介して Web サイトを管理します。ページにマネージャ・フラグメントが表示されていて、ページがコントリビューション・モードの場合は、管理者が使用可能なツールがアプリケーション内に表示されます。ツールは最小化された状態（図 A-2）、またはページ内にインタフェースが完全に表示された状態（図 A-3）で表示されます。マネージャ・インタフェースを完全に表示するには、バーの「manage site」をクリックします。

図 A-2 最小化されたマネージャ・ツールバー



図 A-3 マネージャ・インタフェース



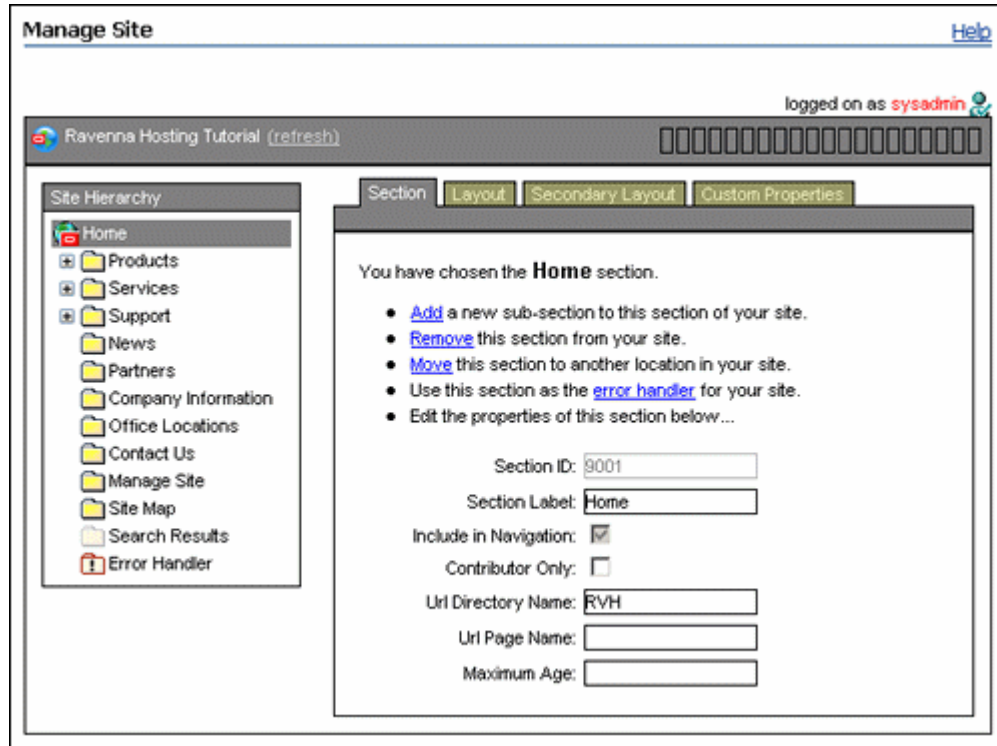
このページには 4 つのタブがあります。

- A-4 ページの「「Section」タブ」
- A-5 ページの「「Layout」タブ」
- A-6 ページの「「Secondary Layout」タブ」
- A-7 ページの「「Custom Properties」タブ」

## A.3 「Section」 タブ

このタブを使用して、Web サイトの階層内のセクションを管理します。管理には、サブセクションの追加と削除、セクションの移動および Web サイトのエラー・ハンドラ・セクションのマークが含まれます。

図 A-4 「Manage Site」 ページの「Section」 タブ



要素	説明
Add	現在のセクションにサブセクションを追加する場合にクリックします。詳細は、2-4 ページの「 <a href="#">セクションの追加</a> 」を参照してください。
Remove	Web サイトからセクションを削除する場合にクリックします。詳細は、2-7 ページの「 <a href="#">セクションの削除</a> 」を参照してください。
Move	サイト階層内の別の領域にセクションを移動する場合にクリックします。詳細は、2-6 ページの「 <a href="#">移動コマンドを使用したセクションの順序の変更</a> 」を参照してください。
error handler	セクションをエラー・ハンドラ・セクションとしてマークする場合にクリックします。詳細は、2-8 ページの「 <a href="#">エラー・ハンドラとしてのセクションの指定</a> 」を参照してください。
Section ID	セクションの個別の ID。
Section Label	セクションの名前。この名前はナビゲーション・フラグメントには反映されますが、URL には反映されません。
Include in Navigation	選択すると、セクションがナビゲーション・フラグメントに含まれます。
Contributor Only	コントリビューション・モードの場合にのみ、セクションが表示可能とマークされます。詳細は、2-8 ページの「 <a href="#">コントリビュータ専用としてのセクションの指定</a> 」を参照してください。
Url Directory Name	URL 内のセクション・フォルダの名前。


要素	説明
Url Page Name	URL 内のセクション・ファイルの名前。
Maximum Age	入力すると、最大経過時間により、プロキシ・サーバーでページをキャッシュできる時間が秒単位で指定されます。詳細は、2-9 ページの「最大経過時間の値の変更」を参照してください。

## A.4 「Layout」 タブ

このタブを使用し、現在のレイアウト・ページを使用した Web ページを表示します。現在のセクションに、その他のレイアウト・ページを適用してプレビューすることもできます。

図 A-5 「Manage Site」 ページの「Layout」 タブ

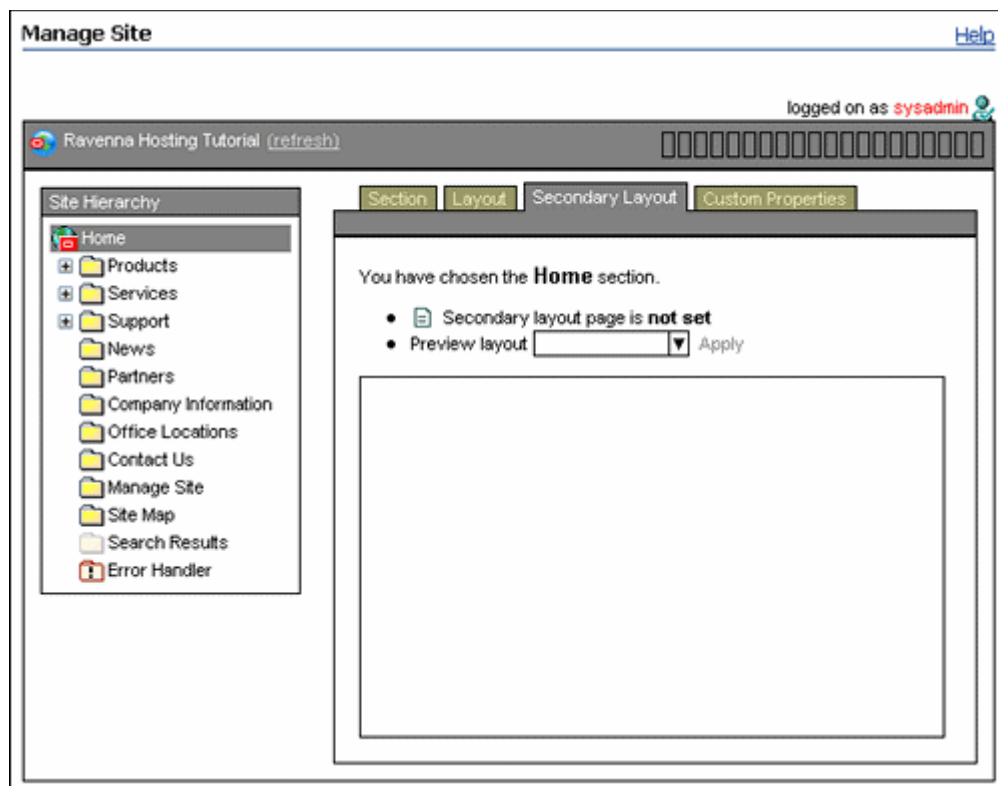



要素	説明
	このアイコンをクリックすると、コンテンツ・サーバーが開かれ、レイアウト・ページの情報が表示されます。レイアウト・ページが設定されていない場合には表示されません。
clear	セクションからレイアウト・ページを削除する場合にクリックします。詳細は、2-13 ページの「 <a href="#">セクションからのレイアウト・ページの削除</a> 」を参照してください。レイアウト・ページが設定されていない場合には表示されません。
メニュー	現在のセクション内に表示するレイアウト・ページをリストから選択します。詳細は、2-10 ページの「 <a href="#">レイアウト・ページのプレビュー</a> 」を参照してください。
Apply	選択したレイアウト・ページをセクションに適用する場合にクリックします。詳細は、2-11 ページの「 <a href="#">セクションへのプライマリ・ページの割当て</a> 」を参照してください。

## A.5 「Secondary Layout」 タブ

このタブを使用し、現在のセカンダリ・レイアウト・ページを使用した Web ページを表示します。現在のセクションに、その他のレイアウト・ページを適用してプレビューすることもできます。

図 A-6 「Manage Site」 ページの「Secondary Layout」 タブ（ページが選択されていない状態）

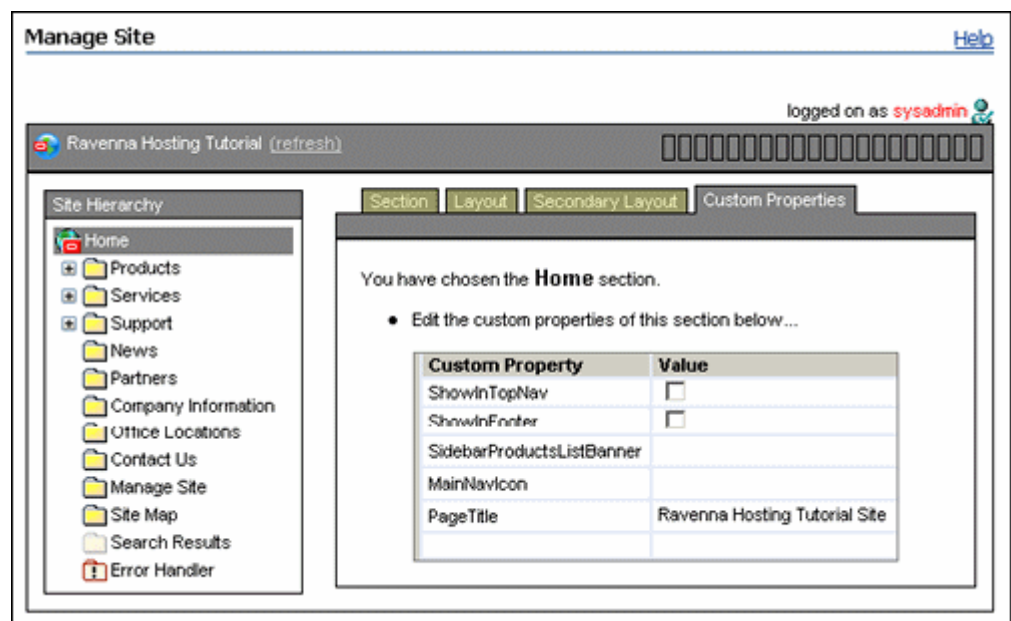


要素	説明
	このアイコンをクリックすると、コンテンツ・サーバーが開かれ、レイアウト・ページの情報が表示されます。セカンダリ・レイアウト・ページが設定されていない場合には表示されません。
clear	セクションからレイアウト・ページを削除する場合にクリックします。詳細は、2-13 ページの「 <a href="#">セクションからのレイアウト・ページの削除</a> 」を参照してください。セカンダリ・レイアウト・ページが設定されていない場合には表示されません。
メニュー	現在のセクション内に表示するレイアウト・ページをリストから選択します。詳細は、2-10 ページの「 <a href="#">レイアウト・ページのプレビュー</a> 」を参照してください。
Apply	選択したレイアウト・ページをセクションに適用する場合にクリックします。詳細は、2-13 ページの「 <a href="#">セクションへのセカンダリ・ページの割当て</a> 」を参照してください。

## A.6 「Custom Properties」 タブ

このタブを使用して、セクションのカスタム・プロパティ情報を編集できます。すべてのカスタム・プロパティは、サイトの設計者によって決定されます。管理者は、セクション・プロパティの編集のみは実行できますが、追加や削除はできません。

図 A-7 「Manage Site」 ページの「Custom Properties」 タブ



この例では、セクションに、編集可能なカスタム・プロパティが2つリストされています。

カスタム・プロパティの編集の詳細は、2-10 ページの「[カスタム・プロパティの変更](#)」を参照してください。



---

---

## サード・パーティ・ライセンス

この付録では、この製品に含まれるすべてのサード・パーティ製品のサード・パーティ・ライセンスを示します。

- B-10 ページの「[Apache Software License](#)」
- B-10 ページの「[W3C Software Notice and License](#)」
- B-11 ページの「[Zlib License](#)」
- B-11 ページの「[General BSD License](#)」
- B-12 ページの「[General MIT License](#)」
- B-12 ページの「[Unicode License](#)」
- B-13 ページの「[その他の帰属](#)」

## B.1 Apache Software License

- \* Copyright 1999-2004 The Apache Software Foundation.
- \* Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the
- \* "License"); you may not use this file except in compliance
- \* with the License.
- \* You may obtain a copy of the License at
- \* <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>
- \*
- \* Unless required by applicable law or agreed to in writing,
- \* software distributed under the License is distributed on an
- \* "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND,
- \* either express or implied.
- \* See the License for the specific language governing
- \* permissions and limitations under the License.

## B.2 W3C Software Notice and License

- \* Copyright 1994-2000 World Wide Web Consortium,
- \* (Massachusetts Institute of Technology, Institut National de
- \* Recherche en Informatique et en Automatique, Keio University).
- \* All Rights Reserved. <http://www.w3.org/Consortium/Legal/>
- \*
- \* This W3C work (including software, documents, or other related
- \* items) is being provided by the copyright holders under the
- \* following license. By obtaining, using and/or copying this
- \* work, you (the licensee) agree that you have read, understood,
- \* and will comply with the following terms and conditions:
- \*
- \* Permission to use, copy, modify, and distribute this software
- \* and its documentation, with or without modification, for any
- \* purpose and without fee or royalty is hereby granted, provided
- \* that you include the following on ALL copies of the software
- \* and documentation or portions thereof, including
- \* modifications, that you make:
- \*
- \* 1. The full text of this NOTICE in a location viewable to
- \* users of the redistributed or derivative work.
- \*
- \* 2. Any pre-existing intellectual property disclaimers,
- \* notices, or terms and conditions. If none exist, a short
- \* notice of the following form (hypertext is preferred, text is
- \* permitted) should be used within the body of any redistributed
- \* or derivative code: "Copyright [date-of-software] World
- \* Wide Web Consortium, (Massachusetts Institute of Technology,
- \* Institut National de Recherche en Informatique et en
- \* Automatique, Keio University). All Rights Reserved.
- \* <http://www.w3.org/Consortium/Legal/>"
- \*
- \* 3. Notice of any changes or modifications to the W3C files,
- \* including the date changes were made. (We recommend you
- \* provide URIs to the location from which the code is derived.)
- \*
- \* THIS SOFTWARE AND DOCUMENTATION IS PROVIDED "AS IS," AND
- \* COPYRIGHT HOLDERS MAKE NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES,
- \* EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES
- \* OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR
- \* THAT THE USE OF THE SOFTWARE OR DOCUMENTATION WILL NOT
- \* INFRINGE ANY THIRD PARTY PATENTS, COPYRIGHTS, TRADEMARKS OR
- \* OTHER RIGHTS.
- \*
- \* COPYRIGHT HOLDERS WILL NOT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,



\* SPECIAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF ANY USE OF THE  
 \* SOFTWARE OR DOCUMENTATION.  
 \*  
 \* The name and trademarks of copyright holders may NOT be used  
 \* in advertising or publicity pertaining to the software without  
 \* specific, written prior permission. Title to copyright in this  
 \* software and any associated documentation will at all times  
 \* remain with copyright holders.  
 \*

## B.3 Zlib License

\* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.3,  
 July 18th, 2005

Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org

Mark Adler madler@alumni.caltech.edu

## B.4 General BSD License

Copyright (c) 1998, Regents of the University of California  
 All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

"Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

"Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

"Neither the name of the <ORGANIZATION> nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## B.5 General MIT License

Copyright (c) 1998, Regents of the Massachusetts Institute of Technology  
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

## B.6 Unicode License

UNICODE, INC. LICENSE AGREEMENT - DATA FILES AND SOFTWARE

Unicode Data Files include all data files under the directories <http://www.unicode.org/Public/>, <http://www.unicode.org/reports/>, and <http://www.unicode.org/cldr/data/>. Unicode Software includes any source code published in the Unicode Standard or under the directories <http://www.unicode.org/Public/>, <http://www.unicode.org/reports/>, and <http://www.unicode.org/cldr/data/>.

NOTICE TO USER: Carefully read the following legal agreement. BY DOWNLOADING, INSTALLING, COPYING OR OTHERWISE USING UNICODE INC.'S DATA FILES ("DATA FILES"), AND/OR SOFTWARE ("SOFTWARE"), YOU UNEQUIVOCALLY ACCEPT, AND AGREE TO BE BOUND BY, ALL OF THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGREEMENT. IF YOU DO NOT AGREE, DO NOT DOWNLOAD, INSTALL, COPY, DISTRIBUTE OR USE THE DATA FILES OR SOFTWARE.

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright 1991-2006 Unicode, Inc. All rights reserved. Distributed under the Terms of Use in <http://www.unicode.org/copyright.html>.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and any associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and any associated documentation (the "Software") to deal in the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that (a) the above copyright notice(s) and this permission notice appear with all copies of the Data Files or Software, (b) both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in associated documentation, and (c) there is clear notice in each modified Data File or in the Software as well as in the documentation associated with the Data File(s) or Software that the data or software has been modified.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in these Data Files or Software without prior written authorization of the copyright holder.

Unicode and the Unicode logo are trademarks of Unicode, Inc., and may be registered in some jurisdictions. All other trademarks and registered trademarks mentioned herein are the property of their respective owners

## B.7 その他の帰属

Adobe, Acrobat, and the Acrobat Logo are registered trademarks of Adobe Systems Incorporated.

FAST Instream is a trademark of Fast Search and Transfer ASA.

HP-UX is a registered trademark of Hewlett-Packard Company.

IBM, Informix, and DB2 are registered trademarks of IBM Corporation.

Jaws PDF Library is a registered trademark of Global Graphics Software Ltd.

Kofax is a registered trademark, and Ascent and Ascent Capture are trademarks of Kofax Image Products.

Linux is a registered trademark of Linus Torvalds.

Mac is a registered trademark, and Safari is a trademark of Apple Computer, Inc.

Microsoft, Windows, and Internet Explorer are registered trademarks of Microsoft Corporation.

MrSID is property of LizardTech, Inc. It is protected by U.S. Patent No. 5,710,835. Foreign Patents Pending.

Oracle is a registered trademark of Oracle Corporation.

Portions Copyright 1994-1997 LEAD Technologies, Inc. All rights reserved.

Portions Copyright 1990-1998 Handmade Software, Inc. All rights reserved.

Portions Copyright 1988, 1997 Aladdin Enterprises. All rights reserved.

Portions Copyright 1997 Soft Horizons. All rights reserved.

Portions Copyright 1995-1999 LizardTech, Inc. All rights reserved.

Red Hat is a registered trademark of Red Hat, Inc.

Sun is a registered trademark, and Sun ONE, Solaris, iPlanet and Java are trademarks of Sun Microsystems, Inc.

Sybase is a registered trademark of Sybase, Inc.

UNIX is a registered trademark of The Open Group.

Verity is a registered trademark of Autonomy Corporation plc



# 索引

## C

Check Out and Open コンポーネント, 1-2  
Content Server, 1-2, A-2  
「Administration」 ページ, A-2  
Custom Properties, A-7

## D

Dynamic Converter, 1-2

## F

Folders コンポーネント, 1-2

## M

「Manage Site」 ページ, A-3  
「Custom Properties」 タブ, A-7  
「Layout」 タブ, A-5  
「Secondary Layout」 タブ, A-6  
「Section」 タブ, A-4  
「Manage Site」 ページの「Custom Properties」 タブ,  
A-7  
「Manage Site」 ページの「Layout」 タブ, A-5  
「Manage Site」 ページの「Secondary Layout」 タブ,  
A-6  
「Manage Site」 ページの「Section」 タブ, A-4  
Maximum Age, A-5

## S

Secondary Layout, A-6  
Site Studio  
コンポーネント, 1-2

## W

Web サイト  
コントリビュータ専用セクションの作成, 2-8  
セクションの削除, 2-7  
セクションの追加, 2-4  
セクションの表示, 2-7  
セクションへのハイパーリンク, 2-7  
セクション名の変更, 2-5  
ホームページの追加, 2-11

## え

エラー・ページ  
セクションの指定, 2-8

## か

階層  
Web サイト, A-4  
外部 URL  
サイト階層への追加, 2-12

## こ

コントリビュータ  
サイトのコントリビュータが表示可能なセクションの  
作成, 2-8  
コンポーネント  
Check Out and Open, 1-2  
Dynamic Converter, 1-2  
Folders, 1-2

## さ

サイト階層  
外部 URL の追加, 2-12  
セカンダリ・ページの追加, 2-13  
セクションの移動, 2-5  
セクションの削除, 2-7  
セクションの追加, 2-4  
セクション名の変更, 2-5  
プライマリ・ページの追加, 2-11  
ホームページの追加, 2-11  
サイト・ナビゲーション  
セクションの表示, 2-7  
ホームページ, 2-11

## せ

セカンダリ・ページ  
サイト階層への追加, 2-13  
セクション  
Web サイトへの追加, 2-4  
エラー・ハンドラとしての指定, 2-8  
カスタム・プロパティの定義, 2-10  
サイト階層内での移動, 2-5  
サイト・ナビゲーションへの追加, 2-7  
サイト・ナビゲーションへの表示, 2-7

削除, 2-7  
名前の変更, 2-5  
セクションの移動, 2-5  
セクションの表示順序, 変更, 2-5

## な

---

ナビゲーション・フラグメント, A-4

## は

---

ハイパーリンク  
セクション, 2-7

## ふ

---

プライマリ・ページ  
サイト階層への追加, 2-11

## ほ

---

ホームページ  
サイト階層への追加, 2-11

## ま

---

マネージャ・フラグメント, A-3

## れ

---

レイアウト・ページ, A-5  
サイト階層への追加, 2-11, 2-13  
削除, 2-13  
セカンダリ, A-6  
プレビュー, A-5, A-6  
ホームページ, 2-11